

下水道用設計標準歩掛表（平成28年度版）の改定

新旧対照表（追加分）

平成28年5月16日

—第1巻 管路—

45 指定事項の修正

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 パイプロハンマ杭打機	最大起振力 88.3kN (普通型) 49.0kN (低振動型)	機-20	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →63 油圧ショベル山積 0.5m ³ /平積 0.4m ³ 機 械 損 料 1 名 称 排 出 ガ ス 対 策 型 (第 1 次 基 準 値) → 油 圧 シ ョ ベ ル 山 積 0.5m ³ /平 積 0.4m ³ 機 械 損 料 数 量 →1.50 機 械 損 料 2 名 称 →油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 (超 低 騒 音 型) パイプロハンマ 最大起振力 88.3kN (普通型) 油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 ・ 可 変 超 高 周 波 型 パイプロハンマ 最大起振力 49.0kN (低振動型) 機 械 損 料 数 量 →1.50
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-21	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →23 機 械 損 料 数 量 →1.02

備考 油圧ショベルの損料はバックホウの損料とする。

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 パイプロハンマ杭打機	最大起振力 88.3kN (普通型) 49.0kN (低振動型)	機-20	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 → 56 油圧ショベル山積 0.5m ³ /平積 0.4m ³ 機 械 損 料 排 出 ガ ス 対 策 型 (第 1 次 基 準 値) 1 名 称 →油 圧 シ ョ ベ ル 山 積 0.5m ³ /平 積 0.4m ³ 機 械 損 料 数 量 → 1.64 機 械 損 料 2 名 称 →油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 (超 低 騒 音 型) パイプロハンマ 最大起振力 88.3kN (普通型) 油 圧 シ ョ ベ ル 装 着 式 ・ 可 変 超 高 周 波 型 パイプロハンマ 最大起振力 49.0kN (低振動型) 機 械 損 料 数 量 →1.50
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-21	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 → 20 機 械 損 料 数 量 → 1.06

備考 油圧ショベルの損料はバックホウの損料とする。

頁 改定趣旨 現 行 (下水道用設計標準歩掛表 (平成27年度版)) 改 定

57 指定事項の修正 (5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28m ³ /平積 0.2m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 46 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45m ³ /平積 0.35m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 71 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.8m ³ /平積 0.6m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 116 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
クレーン装置付 ト ラ ッ ク	4t級, 2.9t吊	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 44 機 械 賃 料 数 量 → 1.23

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28m ³ /平積 0.2m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 41 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45m ³ /平積 0.35m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 59 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.8m ³ /平積 0.6m ³	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 102 機 械 賃 料 数 量 → 1.64
クレーン装置付 ト ラ ッ ク	4t級, 2.9t吊	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 38 機 械 賃 料 数 量 → 1.23

頁 改定趣旨 現 行 (下水道用設計標準歩掛表 (平成27年度版))

改 定

124 指定事項の
修正

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 45kVA	機-16	燃料消費量→48 機械賃料数量→1.1
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 60kVA		燃料消費量→66 機械賃料数量→1.1
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 125kVA		燃料消費量→136 機械賃料数量→1.1

131 指定事項の
修正

(6) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 25kVA	機-16	燃料消費量→27 機械賃料数量→1.1
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 60kVA		燃料消費量→66 機械賃料数量→1.1

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 33 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 45kVA	機-16	燃料消費量→ 41 機械賃料数量→ 1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 60kVA		燃料消費量→ 56 機械賃料数量→ 1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 125kVA		燃料消費量→ 116 機械賃料数量→ 1.2

(6) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 33 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 25kVA	機-16	燃料消費量→ 22 機械賃料数量→ 1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値), 60kVA		燃料消費量→ 56 機械賃料数量→ 1.2

頁 | 改定趣旨 | 現 行 (下水道用設計標準歩掛表 (平成27年度版))

改 定

399 | 指定事項の
修正

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値) 45 kVA	機-16	燃 料 消 費 量→43 機 械 賃 料 数 量→1.1
空 気 圧 縮 機	2.2 m ³ /min	機-30	機 械 賃 料 数 量→1.3
本管用TVカメラ車	2 t 63 kW	機-19	運 転 労 務 数 量→1 燃 料 消 費 量→11 機 械 損 料 数 量→1.3

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値) 45 kVA	機-16	燃 料 消 費 量→37 機 械 賃 料 数 量→1.2
空 気 圧 縮 機	2.2 m ³ /min	機-30	機 械 賃 料 数 量→1.3
本管用TVカメラ車	2 t 63 kW	機-19	運 転 労 務 数 量→1 燃 料 消 費 量→11※ 機 械 損 料 数 量→1.3

※「下水道用設計標準歩掛表 (平成28年度版) の改定 新旧対照表 -第1巻 管路-」より修正することを示す。